

第3回 多摩川トンネル浮島ランプ構造勉強会

議事概要

1. 日 時: 令和8年7月10日(金) 10:00～11:30

2. 場 所: 九段第3合同庁舎15階 関東地方整備局会議室

3. 委 員:

(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 所長 真下 英人

東京科学大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 教授 高橋 章浩

東京大学 大学院 工学系研究科 教授 福田 大輔

東京理科大学 創域理工学部 社会基盤工学科 教授 柳沼 秀樹

川崎市 川崎区役所道路公園センター 所長 栗山 伸一

川崎市 建設緑政局 広域道路整備室長 小沼 匡弘

国土交通省 関東地方整備局 道路計画第一課長 三條 憲一

国土交通省 関東地方整備局 道路工事課長 内山 淳二

国土交通省 関東地方整備局 川崎国道事務所長 菊池 正彦

4. 議事概要:

○下記事項について確認した。

- ・浮島ランプは事業着手後、地質調査結果等を踏まえた詳細な構造検討を行ったところ、大きなコンクリート殻を多く含んだ軟弱地盤における地中拡幅の実現性に課題があり、広範囲に補助工法等の追加対策が必要となることがわかった。これに伴い大幅なコストの増加も見込まれ、ランプ構造の検討・調整が必要となった。
- ・複数のランプ形状案を検討し、構造及び施工・交通処理などの面から比較検討を行い、ランプ構造の最適案をとりまとめた。
- ・開削工法における盤ぶくれ対策について、複数案を施工などの面から比較検討を行い、最適案をとりまとめた。
- ・引き続き徹底したコスト縮減等に取り組み、直轄事業負担金の負担者である川崎市と情報共有を行いながら、着実に事業を推進していく。

以上